

2020年12月10日

報道関係各位

【取材のお願い】

学生がアプリ開発でオフィスの価値を見出す

コミュニケーションを起点としたクリエイティビティを生むオフィスについて研究

南山大学



NEC ネットエスアイ中部支店様に訪問した様子



非対面のコミュニケーションを実践中の様子

南山大学（愛知県名古屋市、学長：KISALA, Robert）経営学部安藤ゼミでは、ワークライフバランスを実現させるために、独自のアプリによるオフィス改革を提案しています。

「そのオフィス、見直してみない？」をテーマに、コロナ禍によりテレワークによる非対面の活動が増えたと同時に発生した、コミュニケーションの希薄化といった課題をアプリによって解決しようと学生が発案しました。きっかけとしては、コロナ禍で私たちの活動も非対面がほとんどになり課題と感じたからです。学生が主体となり、大学生ならではの発想でアプリ発案のための情報収集、企画立案を行い、また学生のアプリに興味を頂いた、働き方改革に重きを置いている大企業の協力を得ることができ、日経BPマーケティング主催の合同研究会では総勢100チーム以上の参加数のなか、本選に出場することが決まりました。学生は2020年12月13日に行われる本選で、最優秀賞受賞を目指しています。

つきましては、2020年12月13日の本選をぜひご取材いただければと存じます。

ご取材概要

【アプリ発案担当者】

- ・南山大学 経営学部経営学科3年 安藤史江ゼミナール 4名
中島美喜、黒川航貴、黒瀬美凧、金子京平

【発案中のアプリ概要】

名称：「communication+」

自由席のオフィスにおいて、コミュニケーションの活性化を図る社内スマートフォンアプリ。座席の予約機能に加え、アプリ内で自分のキャラクターであるアバターを作り、相席申請をするという仕組みでコミュニケーションのきっかけを生み、自分にとってのキーマンを探す。

【今後のスケジュール（予定）】

2020年12月13日 西日本インカレ本選

（本選大会参加予定10チーム中、最優秀賞を目指す）

■本資料に関するお問い合わせ

- ・南山大学 経営学部 担当/安藤 [Tel:052-832-3111](tel:052-832-3111) Mail:fumiea@nanzan-u.ac.jp
（不在の場合は経営学部事務室 [Tel:052-832-4342](tel:052-832-4342) へ）
学長室 [Tel:052-832-3113](tel:052-832-3113) Mail:webmaster@nanzan-u.ac.jp

〈参考〉

■南山大学

- ・学長：ロバート・キサラ
- ・設立：1949年
- ・学生数（大学）：9097名（2020年5月1日現在）
- ・学部編成（大学）：
人文学部、外国語学部、経済学部、経営学部、法学部、総合政策学部、理工学部、国際教養学部
- ・所在地：愛知県名古屋市昭和区山里町18
- ・ウェブサイト：<https://www.nanzan-u.ac.jp/>